

S-NET 事務局より提供可能な主なプログラムの詳細

1 内閣府、経済産業省または有識者による講演（宇宙産業の現状等）の機会の提供

（これまでの講演実績）

内閣府宇宙開発戦略推進事務局：「宇宙政策の現状と今後について」

経済産業省宇宙産業室：「ビッグデータ時代の新たな衛星データ利用について」

2 衛星データに関する基礎的な知識やその扱い方等に関する講習会

（Tellus を用いて、実際の衛星画像を操作するハンズオン講座）

本講習会では、初めて衛星データを利用する人を対象に、クラウド環境で大量の衛星データを分析できる「Tellus」を用い、リモートセンシングの基礎知識とともに、大容量衛星データを利用するための基礎的な実習を行います。

【Tellus】

Tellus（テルース）とは、政府衛星データを利用した新たなビジネスマーケットプレイスの創出を目的とした、日本発のオープン&フリーな衛星データプラットフォームです。衛星データ、AI や画像解析用のソフトウェアが原則無償で利用可能で、衛星データ以外の統計データ等複数のデータをかけ合わせ、新たなビジネス創出を促進するための様々なファンクションを提供します。

（講習会プログラム（半日）の例）

時間	科目	内容
20分	Tellus やG 空間情報センターの概要	Tellus やG 空間情報センターの概要説明、衛星、センサ、観測データなどの概要や特徴など、衛星データを利用する上で最低限必要な基礎知識に関する講義。
40分	Python を学んでみよう	Python で地図データを扱う方々への初歩的な講習。
60分	G 空間情報センターのデータを Tellus で可視化	G 空間情報センターから、shp, GeoJosn 形式のファイルをダウンロードして Tellus 上で可視化する講習。
70分	地上データと衛星データを活用して分析	Jupyter Lab を介して、地上データと衛星データを組み合わせた分析、表示を行う講習。

※会場内で受講者がインターネットに接続できる環境を準備する必要があります。また、受講者はネット接続可能なPCの準備が必要になります。最大30名規模で講師2名の派遣となります。

3 S-Booster への提案につなげる等を視野に、衛星データ等を活用したソリューションアイデアを創出するためのメソッドを学習するアイデアソン（グループワーク形式）

（アイデアソンプログラム（半日）の例）

時間	科目	内容
30分	ガイダンス	アイデアソンの進め方、衛星データの特徴・活用事例の紹介など
120分	グループワーク	衛星データ利用のアイデア、想定ユーザー、提供価値等についてブレインストーミングを行いながら検討（グループ形式）
40分	発表意見交換	各グループによる発表、意見交換

※最大30名程度規模で講師2名の派遣となります。

4 宇宙ビジネスの事業化や事業推進の課題に対して専門家（宇宙ビジネス・コーディネーター）へ相談する機会の創設

※専門家（コーディネーターと衛星データ利用のエンジニア）2名で対応します。1回50分程度になります。

※開催に必要な会場費、開催に必要な講師等の交通費は提案自治体の負担です。

※本支援メニュー1の内閣府及び経済産業省から講師を派遣する場合は、交通費は無償となります。